

2021 | 12月期 決算説明資料

(2021年1月1日～2021年12月31日)

2022年3月31日

日本フェンオール株式会社

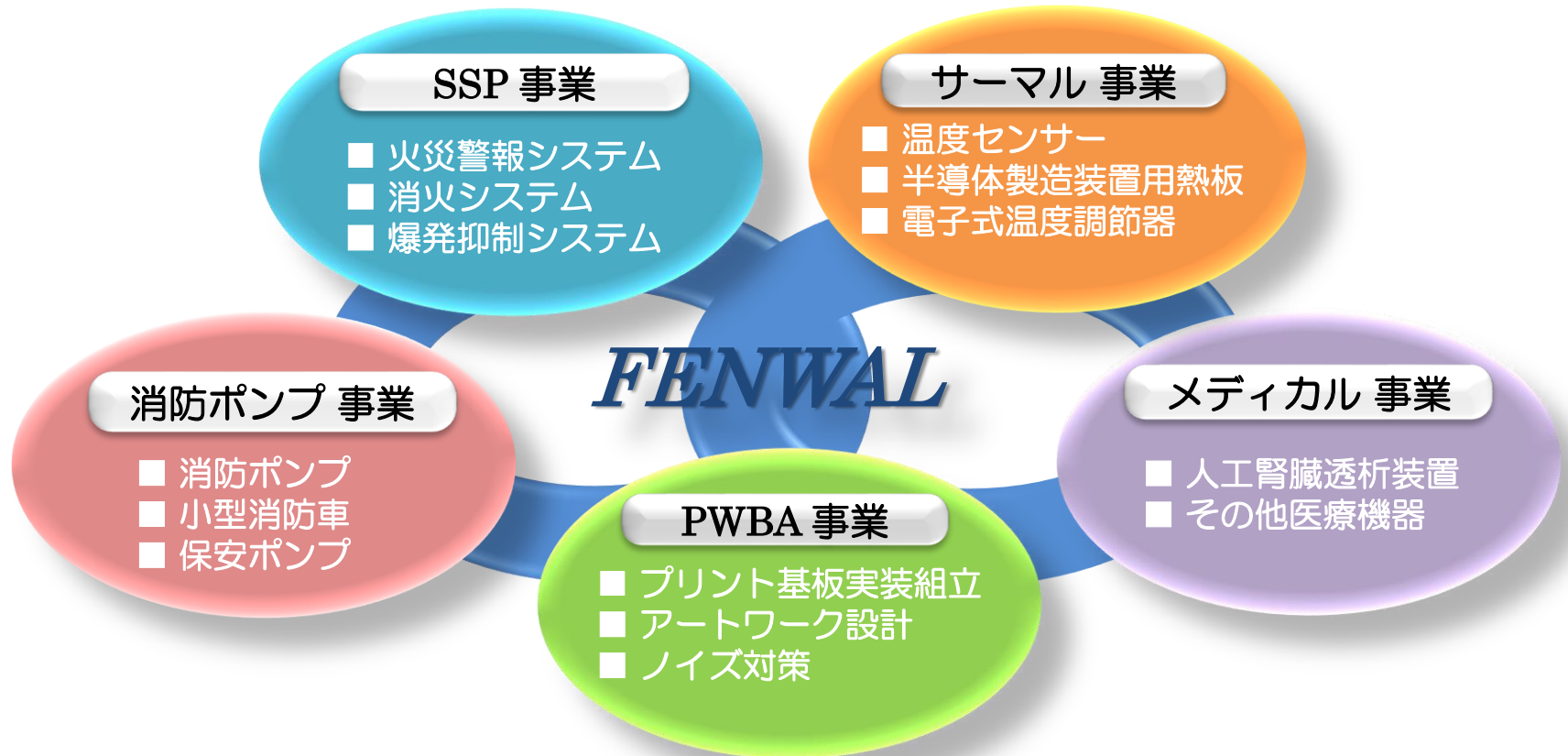
Contents

	頁
1. 事業概要 -----	2
2. 2021年 12月期 決算概要 -----	4
セグメント別実績 -----	7
投資・財務概況・経営指標 -----	15
3. 配当金の推移 -----	21

1. 事業概要



熱制御技術をコアとした事業を展開



※消防ポンプ事業は、当期より新たに追加しております。

2. 2021年12月期 決算概要



2021年度 通期の業績サマリー

前期比 売上高 +35.6% 営業利益 +65.9% 増収増益

(単位：百万円)

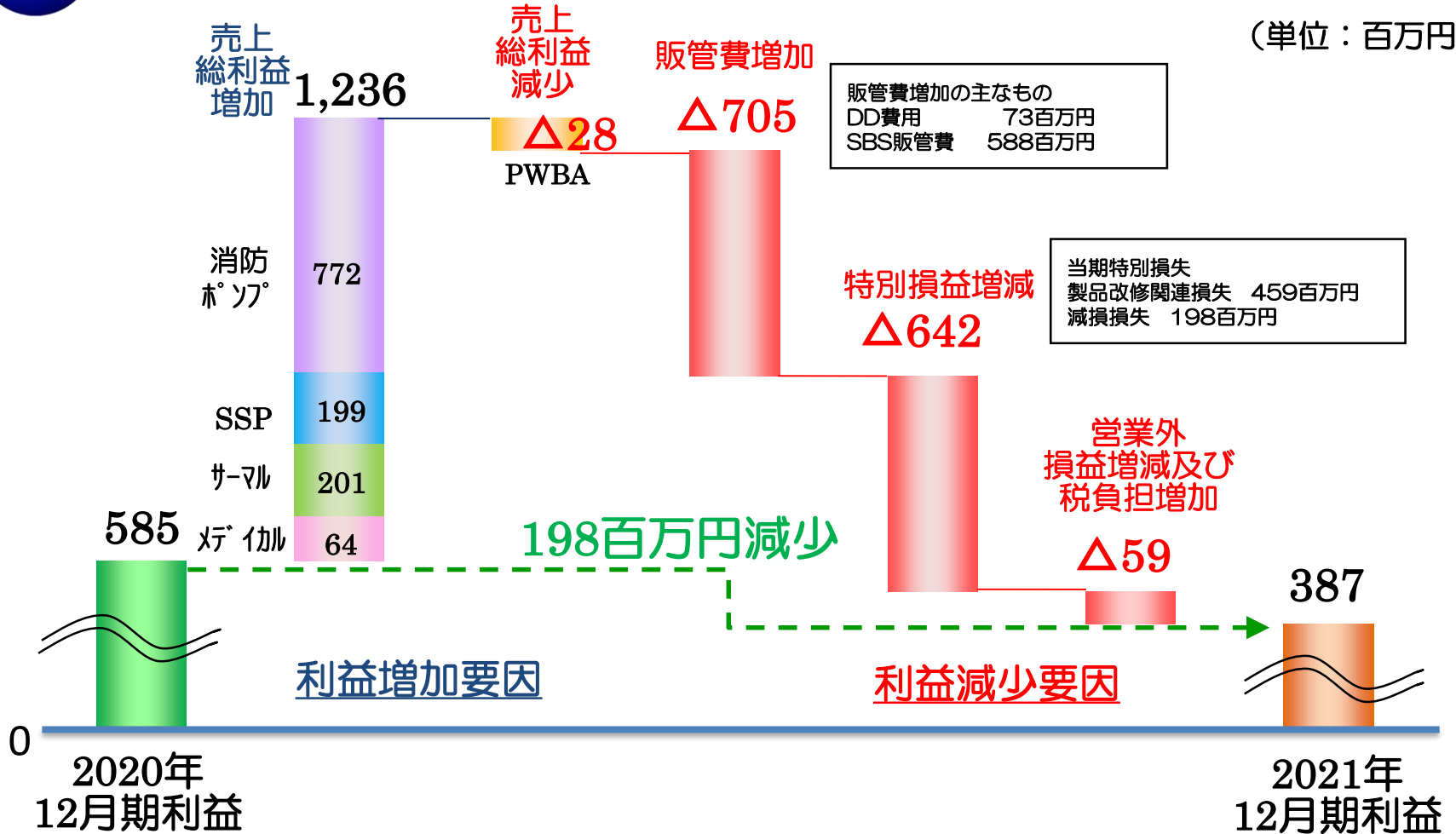
業績項目	当期実績		前年実績		当期予算※	
	実績		実績	前期比	予算	予算比
■ 受注	12,829		9,191	39.6%	12,480	2.8%
■ 売上	12,372		9,125	35.6%	12,298	0.6%
■ 売上総利益	3,902		2,694	44.8%	3,821	2.1%
■ 販管費	2,632		1,928	36.5%	2,721	△3.3%
■ 営業利益	1,270		765	65.9%	1,100	15.5%
■ 営業外損益	67		72	△6.3%	28	141.8%
■ 経常利益	1,338		838	59.6%	1,128	18.6%
■ 当期純利益	387		585	△33.8%	789	△50.9%
■ 1株当り純利益(円)	68.67		103.64	△33.7%	139.72	△50.9%
■ 平均レート(円)	109.84		106.67	3.0%	105.00	4.6%

※2021年7月30日に公表いたしました修正後の予算となっております。



前期比 当期純利益増減要因

(単位：百万円)



セグメント別実績

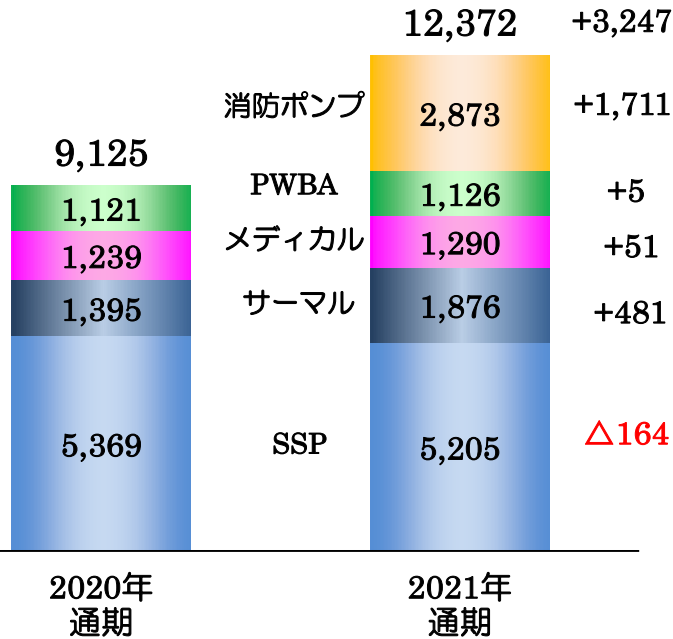


セグメント別増減明細

売上高の増減

百万円

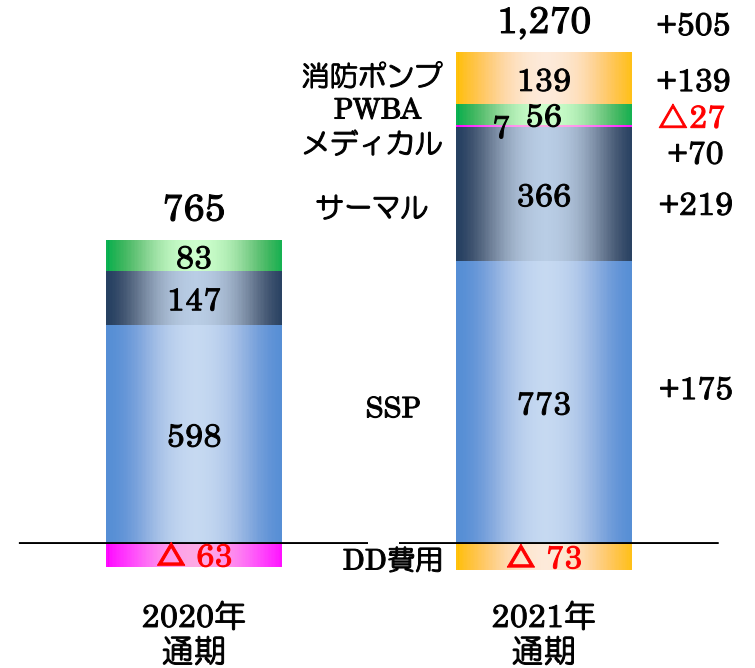
増減



営業利益の増減

百万円

増減

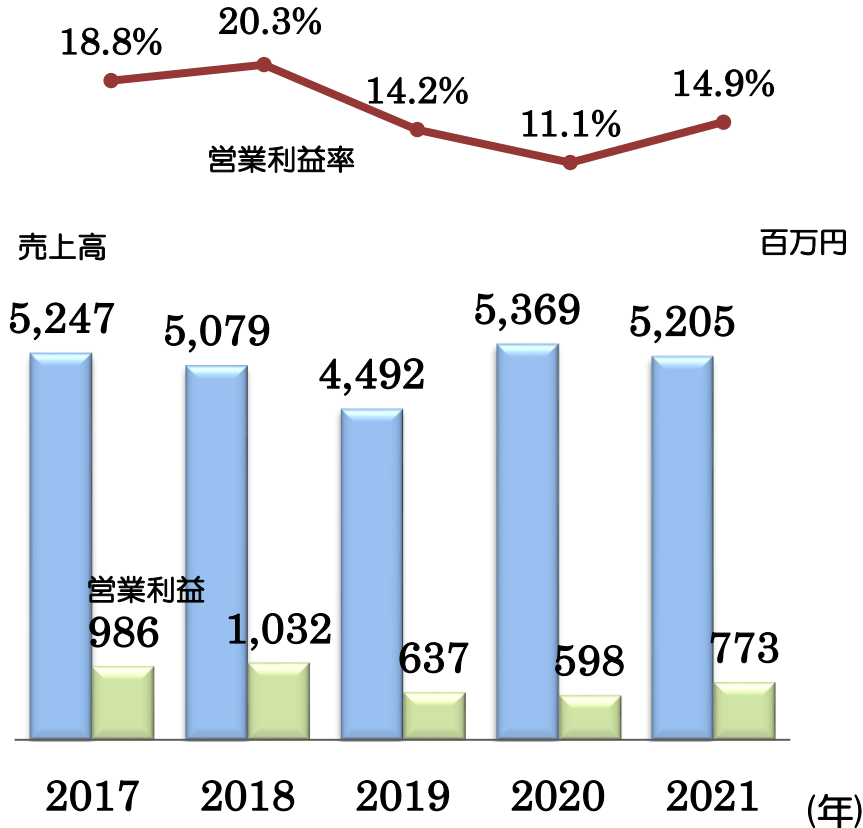


※全社費用をセグメント別に配賦



セグメント別売上高・営業利益 SSP

売上高・営業利益推移



【減収・増益】

・売上高	前期比	△3.1%
・営業利益	前期比	29.3%

1. 前期比較

(1) 売上高 (164百万円減少)

主に、特定顧客向け大型工事案件の減少によるもの。

(2) 営業利益 (175百万円増加)

業務の効率化や特殊消火設備の利益率改善等によるもの。



セグメント別売上高・営業利益 サーマル

売上高・営業利益推移



【増収・増益】

・売上高	前期比	34.5%
・営業利益	前期比	149.0%

1. 前期比較

(1) 売上 (481百万円増加)

- ・半導体製造装置用熱板 (291百万円増加)
 - ・半導体製造装置用センサー (151百万円増加)
- 半導体市場における需要増を背景とした受注増加により売上高増加

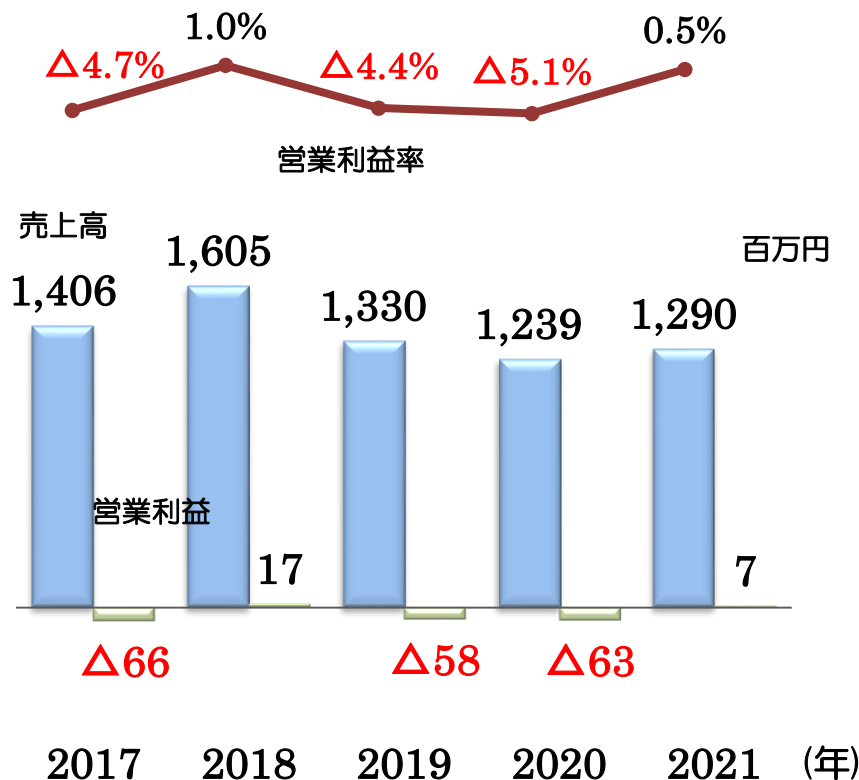
(2) 営業利益 (219百万円増加)

売上高増加による売上総利益増加により営業利益は大幅に増加



セグメント別売上高・営業利益 メディカル

売上高・営業利益推移



【増収・増益】

・売上高	前期比	4.1%
・営業利益	前期比	黒字転換

1. 前期比較

(1) 売上 (51百万円増加)

① 人工腎臓透析装置 (31百万円増加)

前期と同程度の出荷台数を確保したことにより、微増

② 国内市場向け人工腎臓透析装置の関連製品

需要・出荷ともに堅調に推移。

(2) 営業利益 (70百万円増加)

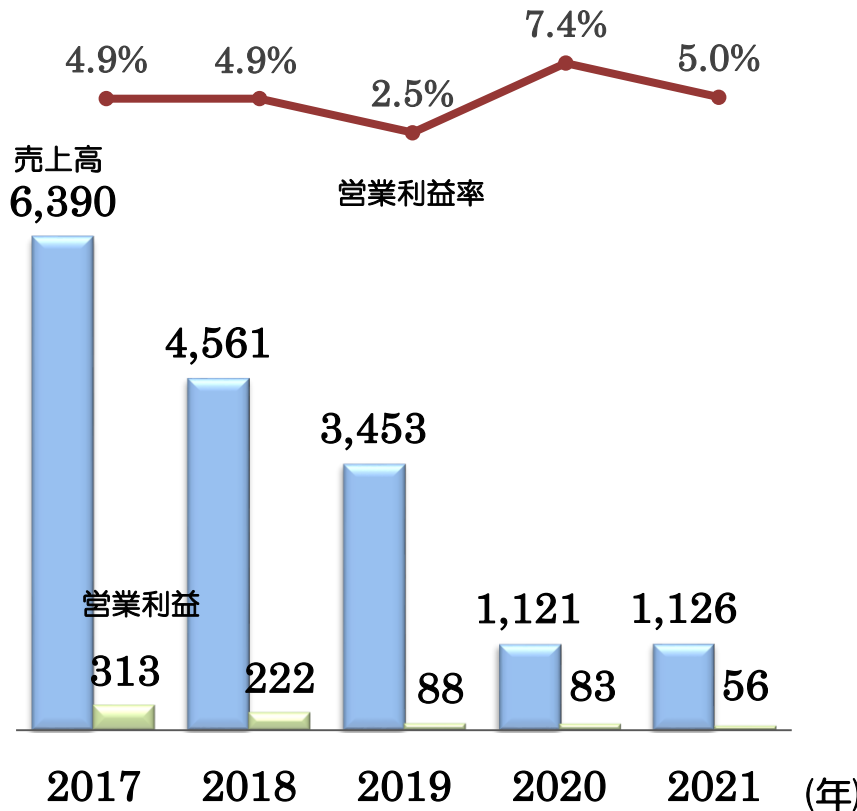
売上高増加及び客先との協業による原価改善活動による売上総利益増加にともない、営業利益は黒字転換



セグメント別売上高・営業利益 PWBA

百万円

売上高・営業利益推移



【増収・減益】

・売上高	前期比	0.5%
・営業利益	前期比	△32.5%

1. 前期比較

(1) 売上（5百万円増加）

一部の産業用市場への出荷は増加したものの、事務機器市場への出荷が伸び悩み、売上高微増

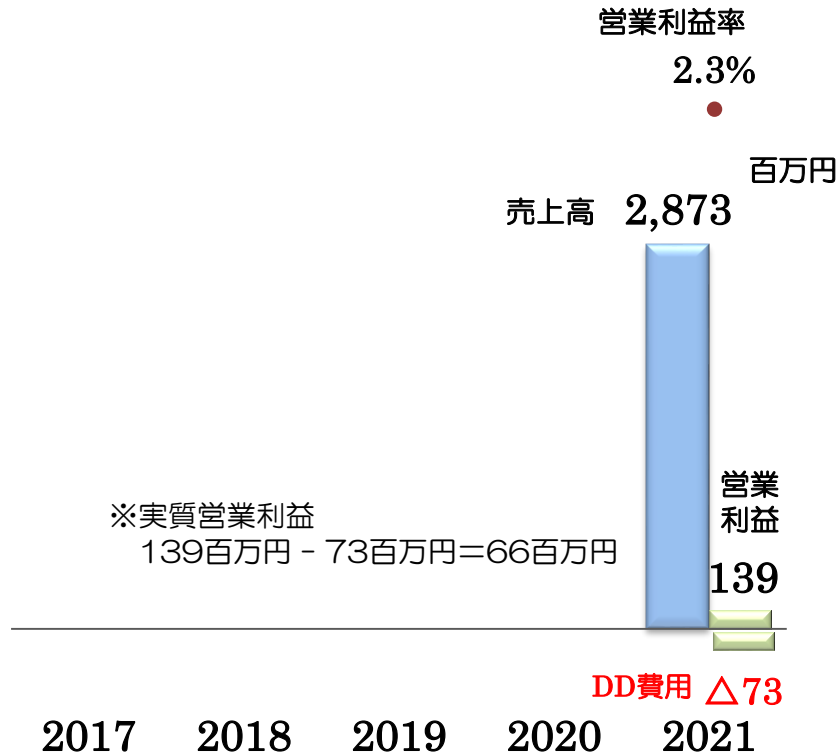
(2) 営業利益（27百万円減少）

売上高減少による営業利益の減少に加え、前期、高利益率製品の特需があったことも影響し、営業利益は減少



セグメント別売上高・営業利益 消防ポンプ

売上高・営業利益推移



- 売上高 2,873百万円
- 営業利益 66百万円
- 営業利益率 2.3%

1. 当期の状況

(1) 売上高

国内市場向けは、消防ポンプ・消防車の販売が堅調に推移。海外市場向けは、タイ・台湾・韓国向け販売が好調を維持

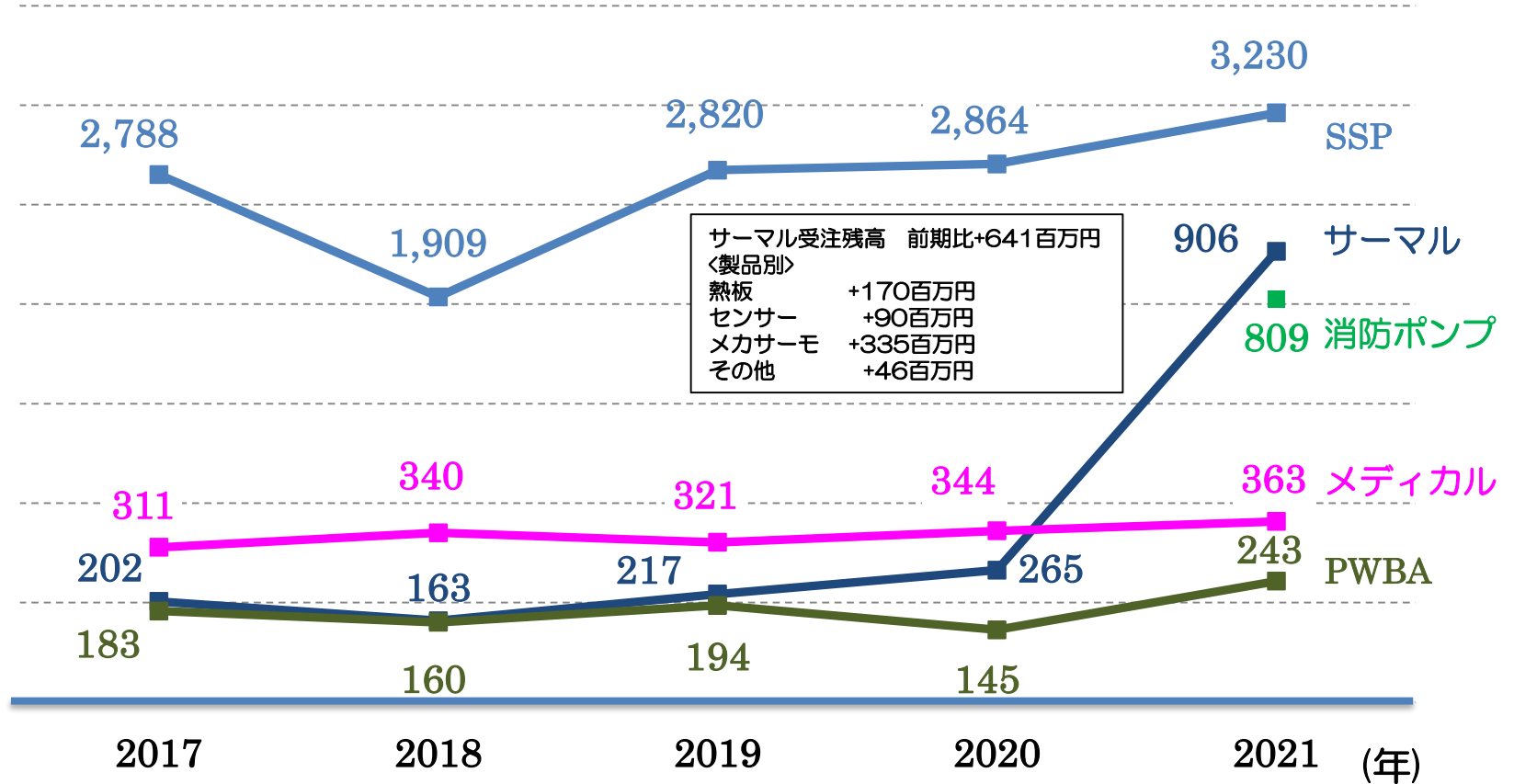
(2) 営業利益

消防ポンプ事業の営業利益は139百万円であったものの、株式取得費用等を控除した結果、66百万円となった



連結部門別受注残高推移

(単位：百万円)

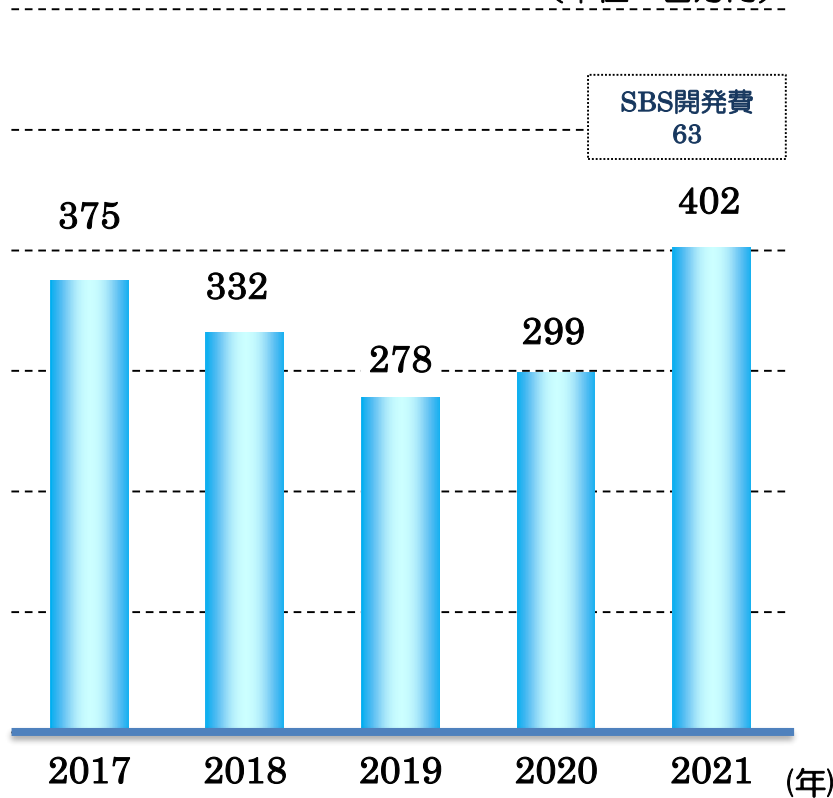


投資・財務概況・経営指標



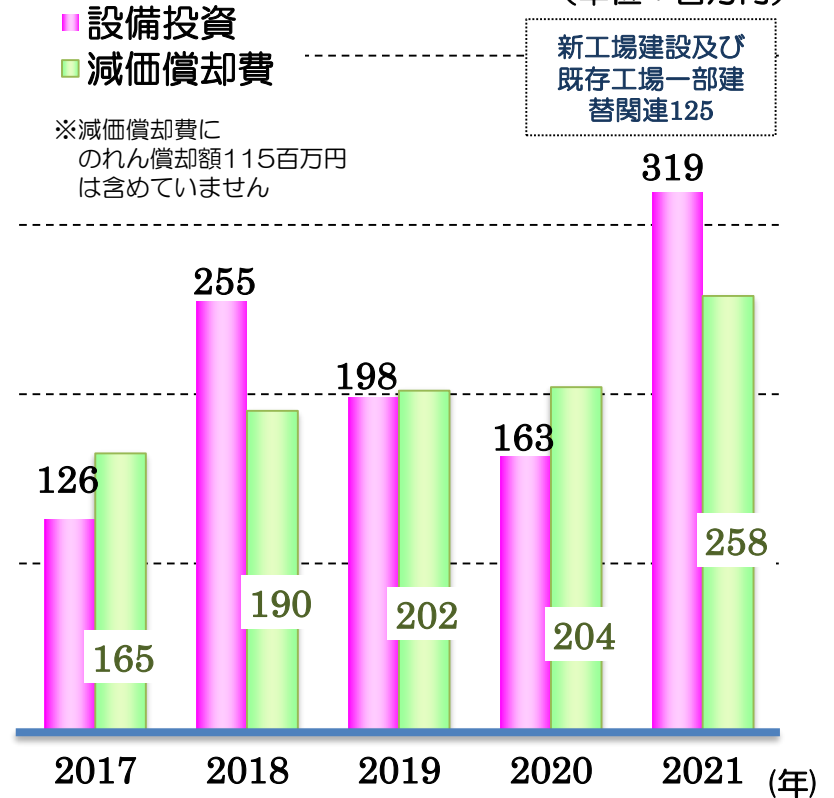
研究開発費

(単位：百万円)



設備投資・減価償却費

(単位：百万円)

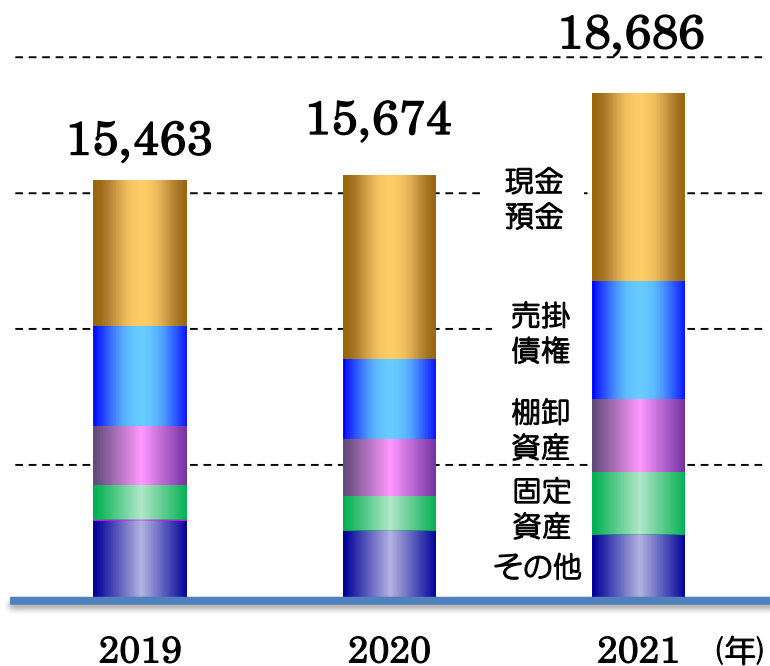




連結貸借対照表(資産の部)

SBSの資産増加及びのれん(1,042百万円)の発生により19.2%増加

資産推移



増減内容

(単位: 百万円)

項目	当期	前年度末	増減率
現金預金	6,890	6,769	1.8%
売掛債権	4,333	2,906	49.1%
棚卸資産	2,697	2,118	27.3%
固定資産	2,306	1,280	80.2%
その他	2,457	2,599	△5.5%
合計	18,686	15,674	19.2%

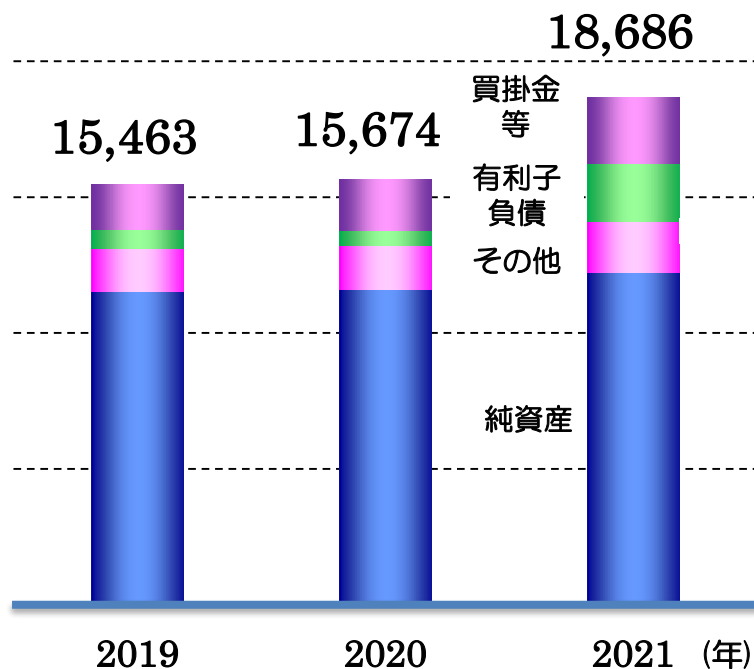
※当期のうち、SBSの資産総額2,564百万円(のれん除く)



連結貸借対照表(負債・純資産の部)

子会社取得に伴う借入金の増加等により負債が大幅増加

負債・純資産推移



増減内容

(単位: 百万円)

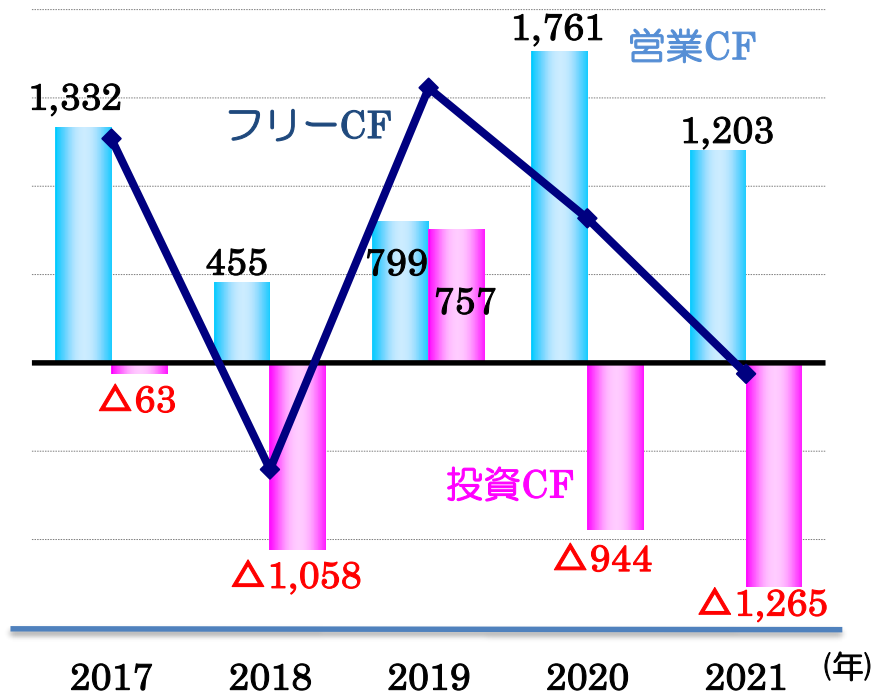
項目	当期	前年度末	増減率
買掛金等	2,455	1,882	30.4%
有利子負債	2,114	568	272.2%
その他	2,195	1,600	37.2%
純資産	11,921	11,623	2.6%
合計	18,686	15,674	19.2%



キャッシュ・フロー計算書

子会社取得費用は借入金と営業CFおよび債券解約により拠出

キャッシュ・フロー推移



増減内容

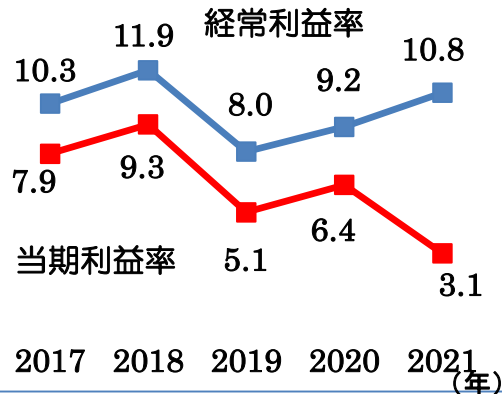
(単位：百万円)

項目	当期	前期	増減率
営業CF	1,203	1,761	Δ31.7%
投資CF	Δ1,265	Δ944	34.0%
財務CF	226	Δ460	—
換算差額	49	Δ60	—
合計	212	295	Δ28.1%
期首残高	5,527	5,231	5.7%
期末残高	5,740	5,527	3.9%
フリーCF	Δ62	817	—

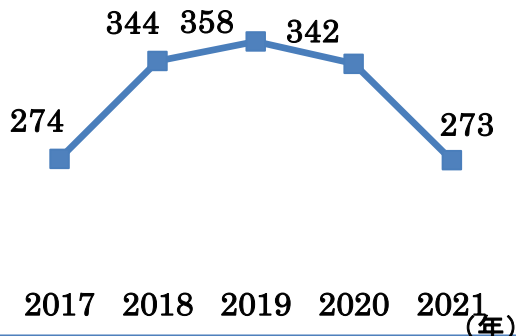


経営指標

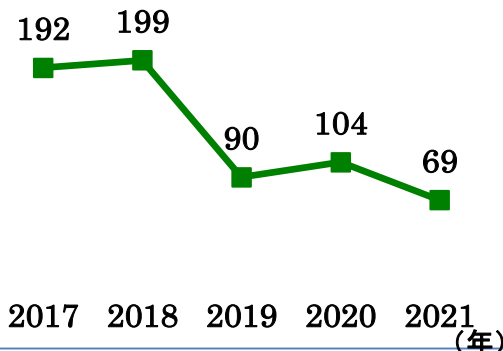
売上高利益率 (%)



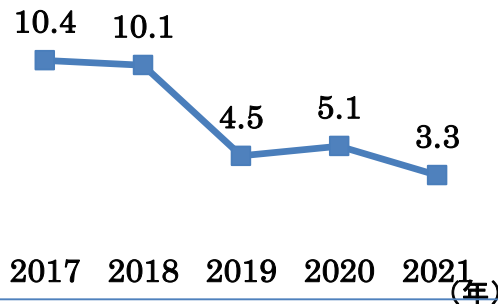
流動比率 (%)



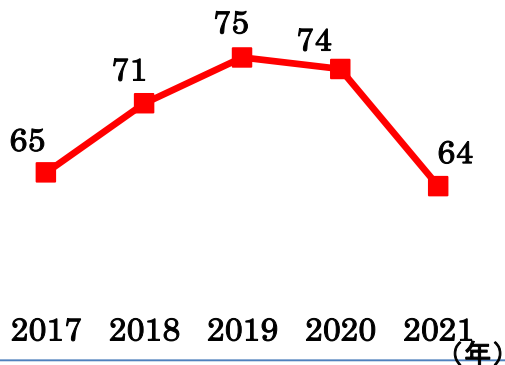
1株当り純利益 (円)



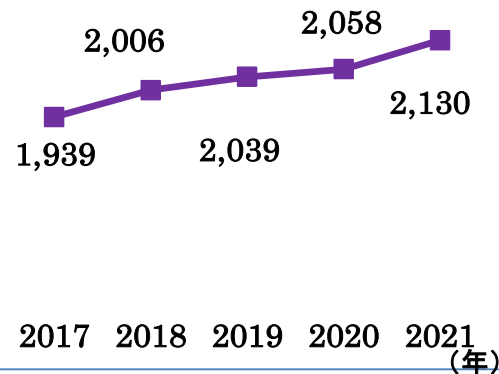
自己資本利益率 (%)



自己資本比率 (%)



1株当り純資産 (円)



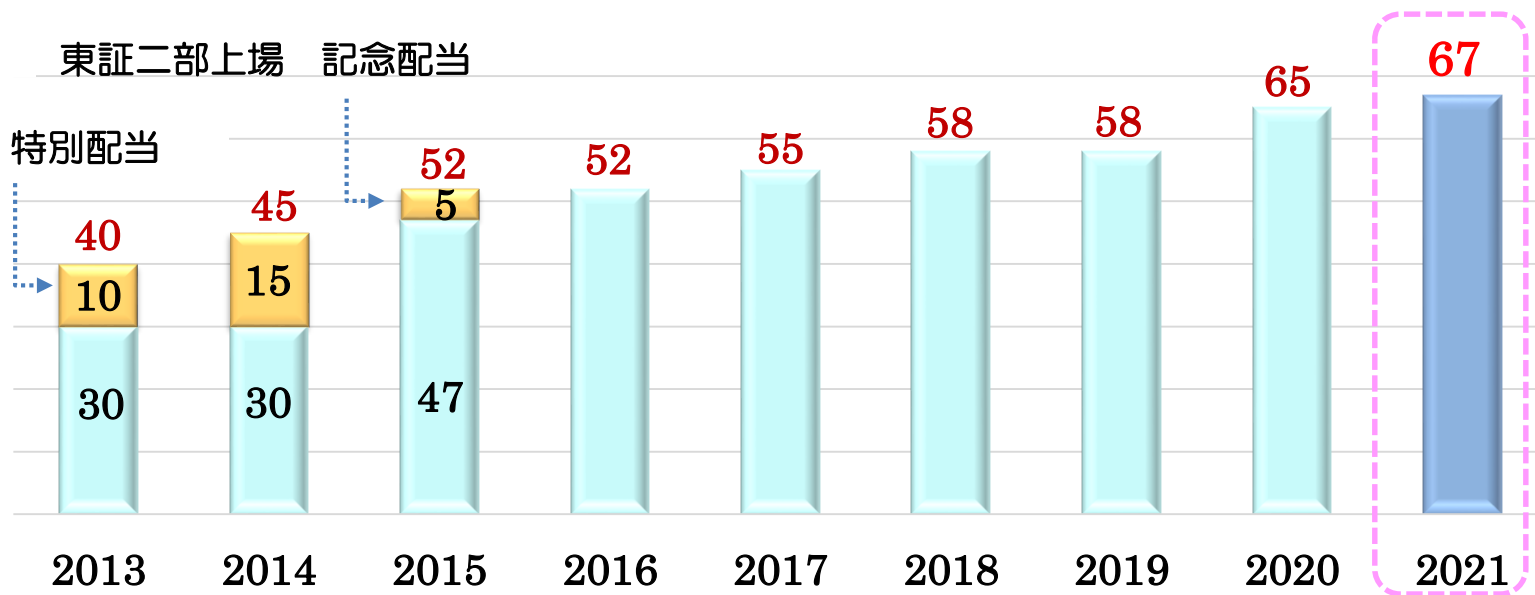
配当金の推移



配当金の推移

1株当たりの配当金推移

(円)



当期純利益 (百万円)	874	1,009	1,158	1,073	1,073	1,169	526	585	387
配当性向(%)	26.9	26.2	26.4	28.5	28.5	29.2	64.6	62.7	97.6
DOE(%)	—	—	—	—	—	—	—	3.38	3.47

■ 注意事項

本資料に記載されている内容は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が作成したものでありますが、特に見通し情報等につきましては、市場環境、為替レート等々様々なリスクや不確実性を内包しておりますので、当社の予測とは異なる可能性があります。

■ お問い合わせ先

日本フェンオール株式会社

取締役 管理統括部長 田原 康治

E-mail : yasuharu.tahara@fenwal.co.jp

住 所 : 〒102-0072

東京都千代田区飯田橋一丁目5番10号

電 話 : 03-3237-3561